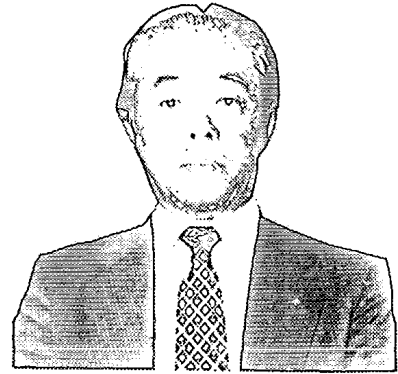


高田春夫先生を悼む

上 原 重 男

高田春夫先生が、1991年6月26日、入院先の札幌医科大学付属病院で逝去された。享年まだ67歳であった。

高田先生の専門研究分野はショウジョウバエの系統分類学で、その鑑識眼は世界的にも非常に高い評価を受けていた。先生の入院中に印刷された最後の論文は、請われて滞在したアメリ



カ合州国オハイオ州のボーリング・グリーン大学における研究中に同定した、ケニア産のショウジョウバエの分類と命名記載に関するものである。

私も一度だけ先生と共著の論文を公刊したことがある。1983年から1984年のチンパンジー調査の片手間に、タンガニイカ湖畔のカソゲで採集したショウジョウバエが材料であった。先生が種の記載を、私が採集法の記述や討論などを分担したが、とてもよい勉強になった。

先生のアドバイスを得て、1987年から1988年のカソゲにおける調査では、さまざまなサンプリング方法を組み合わせてずっと多種多数の標本を採集し、お土産とした。残念ながら、こちらは結局手つかずのままになってしまった。もう少し時間があれば同定が終るのにと、先生もかなり気にしておられた。

自然保護運動がまだごく少数派のころから、先生はこの問題の重要性をよく認識しておられたようだ。教養ゼミナール論集のバック・ナンバーを見ると、先生はとくに若い世代の人たちが自然保護に関心をもつように、熱心に働きかけていたことがよくわかる。状況は変わり、自然保護は世間の常識の一部となりそうな気配もあるが、中央棟最上階の研究室から、スキー・ゲレンデでずたずたにされた藻岩山の斜面を見て心を痛めておられ

た先生は、日本人の自然保護意識がもっと強くなることを望まれていたのに違いない。

自然保護の重要な概念のひとつに、生物の多様性の保護と保存がある。地球上の生物がもつ資源としての潜在的価値は、近視眼的な現時点の経済尺度からだけでは、到底はかりきれない。ところが、生物は全部で一体何種いるのかが解明されないうちに、一方でどんどん絶滅種がふえている。生物の多様性を直接研究対象とする先生としては、まだやらなければならないことが沢山残っているのに、死んでたまるものかという気持であったろう。御冥福を祈りたい。

高田春夫先生経歴紹介

大正14年 4 月26日生

秋 田 市 出 身

[学歴・教育歴]

昭和19年 4 月	官立水原農林専門学校（現・国立ソウル大学校・農科大学）附置博物教員養成所博物科入学
昭和23年 3 月	北海道大学札幌臨時教員養成所生物科卒業
昭和23年 3 月	北海道立小樽水産高等学校教諭
昭和25年 6 月	北海道大学理学部研修員
昭和35年 9 月	米国テキサス大学遺伝学部客員研究員
昭和36年10月	理学博士（北海道大学）
昭和36年10月	米国テキサス大学博士研究員（ポスト・ドクトラル・フェロー）
昭和39年 4 月	釧路女子短期大学助教授
昭和41年 4 月	釧路女子短期大学教授・附属図書館長及び附属幼稚園長

高田春男先生を悼む

- 昭和 43 年 6 月 札幌大学教養部教授
教務部長，教養部長，理事，評議員，国際交流委員会
委員長等を歴任
- 昭和 62 年 8 月 米国・オハイオ州立ボーリング・グリーン大学名誉客
員教授

[研究歴]

- 昭和 39 年 6 月 日米科学協力研究の日本代表として，ハワイ大学に出向
- 昭和 40 年 10 月 日米科学協力研究の日本代表として，琉球大学に出向
- 昭和 43 年 6 月 日米科学協力研究の日本代表として，台湾国立中央研
究院に出向
- 昭和 47 年 6 月 文部省海外学術調査補助金により，香港・マレーシア・
インドネシア・シンガポールに出張
- 昭和 48 年 6 月 文部省海外学術調査補助金により，ニューギニア・オー
ストラリア・ニューカレドニア・ニューヘブリジス・
フィジー・西サモア・トンガ・ソロモン・フィリッピ
ンに出張
- 昭和 55 年 4 月 韓国生物教育学会会長から招かれて渡韓，韓国生物科
学協会（動物学会・植物学会・遺伝学会・生物教育学
会・陸水学会の 5 学会で構成）の総会において記念特
別講演をおこない，韓国遺伝学会会長から感謝牌を受
ける。
- 昭和 61 年 8 月 スイス・チューリッヒ大学自然科学部動物学博物館に出向
- 昭和 62 年 8 月 米国・オハイオ州立ボーリング・グリーン大学生物科
学部名誉客員教授

〔研究業績〕

(著 書 6)

1. 細胞の知識 ～動物～	共 著	1956 年	岩波書店
2. Insects of Micronesia: Diptera, Drosophilidae.	共 著	1964 年	B. P. Bishop Museum, Honolulu, Hawaii
3. 要説生物科学	共 著	1970 年	文理
4. ライフ・サイエンス	共 著	1979 年	文理
5. ショウジョウバエの遺伝学	共 著	1979 年	国立遺伝学研究所 大島博士退官記念事業会
6. 集団・行動遺伝学研究法	共 著	1983 年	共立出版

(学術論文 53)

1. ショウジョウバエの翅脈指数に見られた地理的変異	単 著	1952 年	科学, 22(10): 540-541
2. フキバツタ精巢の染色体に及ぼす2・3培養液の影響	単 著	1953 年	染色体, 16: 580-585
3. カオジロショウジョウバエの二型間における高度差分布	単 著	1954 年	遺伝学雑誌, 29: 109-113
4. Drosophila survey of Hokkaido, I.	共 著	1954 年	Annot. Zool. Japon., 27: 97-101
5. 春ニシンの発生	単 著	1955 年	採集と飼育, 17(4): 98-103
6. 初期春ニシン精巢の組織学的観察	単 著	1955 年	動物学雑誌, 64(5): 154-156

7. 初期春ニシン集団の解析	単 著	1955 年	小樽水産高校50周年誌： 79-86
8. 北海道における ショウジョウバエ の越冬に関する 2・3の観察	共 著	1957 年	動物学雑誌, 64(4)：206-212
9. <i>Drosophila</i> survey of Hokkaido, VI.	共 著	1958 年	Jpn. Jour. Zool., 12(2)： 133-137
10. <i>Drosophila</i> survey of Hokkaido, X.	単 著	1958 年	Jour. Fac. Sci., Hokkaido Univ., Ser. VI., Zool., 14： 120-127
11. A preliminary survey of the <i>Drosophilidae</i> from Kongju, South Korea.	共 著	1958 年	Annot. Zool. Japon., 31： 113-116
12. On <i>Mycodrosophila koreana</i> sp. nov. from South Korea.	共 著	1959 年	Annot. Zool. Japon., 32(2)： 94-96
13. <i>Drosophila</i> survey of Hokkaido, IX.	単 著	1959 年	Annot. Zool. Japon., 32(3)： 152-155
14. 北海道における 果物トラップによ るショウジョウバ エの採集	単 著	1960 年	動物学雑誌, 69(7)：223-232
15. <i>Drosophila</i> survey of Hokkaido, XI.	共 著	1960 年	Annot. Zool. Japon., 33(2)： 142-145
16. <i>Drosophila</i> survey of Hokkaido, XIII.	単 著	1960 年	Annot. Zool. Japon., 33(3)： 188-195

17. The male genitalia of <i>Drosophila populi</i> .	単 著	1960 年	Brooklyn Ent. Soc., 55 : 144-147
18. The <i>flavopilosa</i> sp. group of <i>Drosophila</i> .	共 著	1962 年	Univ. Tex. Publ., 6205 : 395-413
19. A revision of the American species of <i>Mycodrosophila</i> .	共 著	1963 年	Ann. Ent. Soc. Am. 56(3) : 392-399
20. Genitalia of F 1-hybrids within the <i>cardini</i> sp. group of <i>Drosophila</i> .	単 著	1963 年	Annot. Zool. Japon., 36(4) : 208-217
21. 生物教科における定量的実験	単 著	1964 年	北海道の理科, 3 : 2 - 3
22. エゾクロショウジョウバエとその種の起源	単 著	1964 年	釧路博物館報, 150 : 42-45
23. <i>Drosophila</i> survey of Hokkaido, XX.	共 著	1964 年	Jour. Fac. Sci., Hokkaido Univ., Ser. VI, Zool., 15(3) : 374-394
24. ショウジョウバエ科雄性生殖器官の分化	単 著	1965 年	釧路女子短大紀要, 1 : 39-50
25. <i>Drosophila</i> survey of Hokkaido, XXI.	共 著	1966 年	Annot. Zool. Japon., 39(1) : 55-59
26. Male genitalia of some Hawaiian <i>Drosophilidae</i> .	単 著	1966 年	Univ. Tex. Publ., 6615 : 315-333

- | | | | |
|---|-----|--------|--|
| 27. The Nearctic and Neotropical species of <i>Scaptomyza</i> . | 共 著 | 1966 年 | Univ. Tex. Publ., 6615 : 37-78 |
| 28. <i>Drosophila</i> survey of Hokkaido, XXII. | 共 著 | 1966 年 | Jour. Fac. Sci., Hokkaido Univ., Ser. VI, Zool., 16 : 31-37 |
| 29. <i>Drosophila</i> survey of Okinawa Main Island. | 共 著 | 1967 年 | Annot. Zool. Japon., 40 : 55-60 |
| 30. <i>Drosophila</i> survey of Hokkaido, XXVI. | 単 著 | 1968 年 | Jour. Fac. Gen. Educ., Sapporo Univ., 1 : 119-127 |
| 31. <i>Scaptomyza pallida</i> and two new species. | 単 著 | 1970 年 | Annot. Zool. Japon., 43(3) : 142-147 |
| 32. 北海道のショウジョウバエ～その分類と生態～ | 単 著 | 1971 年 | 札幌大学教養部紀要, 2 : 15-30 |
| 33. Male genitalia of some representative genera of American Drosophilidae. | 共 著 | 1971 年 | Univ. Tex. Publ., 7103 : 225-240 |
| 34. <i>Drosophila</i> survey of Hokkaido, XXIX. | 共 著 | 1973 年 | Jour. Fac. Gen. Educ. Sapporo Univ., 5 : 1-4 |
| 35. Distribution and population constitution of <i>Drosophila</i> in Southeast Asia and Oceania, I. | 共 著 | 1973 年 | Jour. Fac. Sci., Hokkaido Univ., Ser. VI, Zool., 19(1) : 73-94 |

36. Distribution and population constitution of <i>Drosophila</i> in Southeast Asia and Oceania, II.	共 著	1975 年	Jour. Fac. Sci., Hokkaido Univ., Ser. VI, Zool., 20(1) : 9-48
37. Distribution and population constitution of <i>Drosophila</i> in Southeast Asia and Oceania, III.	共 著	1976 年	Kontyû, 44(1) : 65-72
38. A new species of <i>Dettopsomyia</i> from the Philippines.	単 著	1976 年	Kontyû, 44(2) : 169-171
39. 昆虫の越冬と休眠	単 著	1978 年	遺伝, 32(10) : 6-11
40. <i>Drosophila</i> survey of Hokkaido, XXXVI.	共 著	1979 年	Jour. Fac. Gen. Educ., Sapporo Univ., 14 : 105-129
41. Four-legged cock: Some problems of modern biological education in Japan.	単 著	1980 年	韓国生物科学協会臨時総会要旨録 : 1-2
42. Notes on Arctic Canadian Diastatidae and Drosophilidae, with the description of a new speceis.	共 著	1981 年	Jour. Fac. Gen. Educ., Sapporo Univ., 18 A : 1-8

43. A drosophila survey of Iriomote Island, Okinawa, Japan.	共 著	1981 年	Jour. Fac. Gen. Educ., Sapporo Univ., 19 A : 27-35
44. Distribution and population constitution of <i>Drosophila</i> in Southeast Asia and Oceania, IV.	単 著	1983 年	Jour. Fac. Gen. Educ., Sapporo Univ., 22 : 139-145
45. Drosophila survey of Hokkaido, XXXVIII.	共 著	1983 年	Jour. Fac. Gen. Educ., Sapporo Univ., 22 : 147-165
46. Drosophila survey of Hokkaido, XXXIX: Description of the genus <i>Nesiodrosophila</i> from northern Hokkaido, Japan.	共 著	1984 年	Jour. Fac. Gen. Educ., Sapporo Univ., 25 : 41-44
47. An ecological note of <i>Drosophila nigromaculata</i> on white skunk cabbage.	共 著	1985 年	Jour. Fac. Gen. Educ., Sapporo Univ., 27 : 67-80
48. 北海道と春ニシ ン	単 著	1986 年	北海道を探る(北海道みんぞく文化研究会), 12 : 224-233

49. <i>Drosophilid</i> flies (Diptera) in the Mahale Mountains National Park, Tanzania: A preliminary report.	共 著	1987 年	Afr. Stud. Monogr., 7 : 15-19
50. 第1回国際双翅類学会に参加して	単 著	1987 年	遺伝, 41(4) : 77-80
51. The systematic status of <i>Drosophila histrioides</i> (Diptera, Drosophilidae).	単 著	1988 年	Kontyû, 56(1) : 193-194
52. Three new <i>Drosophila</i> species (Diptera: Drosophilidae) from British Columbia, Hawaii, and the Canary Islands.	共 著	1989 年	Ent. News, 100(3) : 111-121
53. Collections of Drosophilidae (Diptera) in Kenya, with description of a new species of <i>Dettopsomyia</i> .	共 著	1990 年	Ent. News, 101(4) : 246-255

(新属記載) 4 属 (新種記載) 147 種

(名誉命名種) 5 種

- | | |
|--------------------|--|
| 1. タカダメマトイ | <i>Amiota conifera takadai</i> Okada,
1977...Japan |
| 2. タカダシヨウジョウバエ | <i>Drosophila takadai</i> Lee, 1964...
Korea |
| 3. タカダシロシヨウジョウバエ | <i>Laccodrosophila takadai</i>
Wheeler, 1968...Ecuador |
| 4. タカダオトヒメシヨウジョウバエ | <i>Microdrosophila takadai</i> Bock,
1982...Australia |
| 5. ハルオトゲオシヨウジョウバエ | <i>Nesiodrosophila haruoi</i> Lin &
Ting, 1971...Taiwan |
| 6. タカダカブトシヨウジョウバエ | <i>Stegana lacunata takadai</i> Kurivo-
sheina |